

子どもたちの安全確保に

市遊技場組合 市に162個

北秋田市内のパチンコ店で組織される北秋田市遊技場組合（松本京子組合長）が7月7日、市役所を訪れ、子どもたちの安全に役立ててと防犯ブザー162個を寄贈しました。市内小学1年生のうち、防犯ブザーがまだ行きわたっていないのは鷹巣地区の160人同組合では、子どもたちの安全確保に少しでも役立てれば、と寄付を申し入れたものです。松本組合長は「市で他に要望があれば協力し、このような活動を今後も継続していきたい」と述べ、岸部市長に目録を手渡しました。今回の寄贈により市内全ての小学1年生にブザーが行き渡ることになり、近々、鷹巣地区の各小学校に届けられます。



贈られた防犯ブザーを手取る岸部市長

翠雲公園内を塗装ボランティア

県北地区塗装工業組合

県北地区の塗装業者で組織する、県北地区塗装工業組合（奥村実組合長）の塗装ボランティアが7月18日、三木田の翠雲公園で行われ、26社から26人が参加しました。

このボランティアは、同組合が地域貢献の一環として、北秋田地区、大館地区、鹿角地区を毎年順番に回り、学校や公園などの遊具施設などを無償で塗装しているもので、今回は、同公園のトイレとあずま屋7カ所を数班に分かれ作業しました。

松岡合川支所長は「7月23日に開催されるあじさいまつりでは、皆さんのおかげで、訪れた方が気持ちよく施設を利用していただけ」と感謝とお礼の言葉を述べました。



きれいに仕上がった翠雲公園のあずま屋

安全・安心の街パトロール中

鷹巣地区安全運転管理者協会

鷹巣地区安全運転管理者協会（篠原康夫会長）は、交通事故防止と地域の安全安心対策のため、7月1日から車両に「安全・安心の街パトロール中」のステッカーを貼り街中を往来しています。

同協会はこれまでも交通安全対策に取り組んできていましたが、死亡事故が発生するなど交通事故が後を絶たず、何かいい方法はないか思案した結果、ステッカーを貼り、市内に広く啓蒙を図ろうとしたもの。

事務局では、運転者自身が安全運転に対する自覚を高め、ステッカーを貼ることで安全・安心の啓発につながる。また、街中を走り回ること、子どもたちの安全・安心にもつながると期待しています。



70台近くの車両に貼られているステッカー

おいしい野菜の作り方教えます

「畑の学校」森吉生活研究グループ

米内沢の上野地内にある「畑の学校」では、生産者と消費者が圃場を介し安全・安心・環境に配慮した栽培技術や農産物の活用について実践しています。

圃場の大きさは2アールで枝豆・スイートコーン・人参が作付けされ、7月はネギ、8月には白菜や大根を作付けする予定で、11月までの間、月2回程度開催します。

参加者は「今年から家庭菜園を行いたい人」や「作る過程を勉強したい人」など初心者の方々に、先生（生産者）の指導のもと額に汗を流しながら農作業に精を出しています。自分で作った物を食べる喜びは格別なもの。収穫が楽しみです。なお、生徒は随時募集しています。詳しくは森吉支所産業建設課まで。



秋の収穫に向け作業をする参加者

農地集団化、施設整備で表彰

綴子土地改良区

綴子土地改良区（三沢敏行理事長）が農地集団化や施設整備に係る功績で表彰を受け7月12日、三沢理事長が市役所を訪れ、岸部市長に報告を行いました。

同改良区は担い手育成ほ場整備事業として実施した榎木田地区が、農業経営の安定と地域農業の発展に寄与したことが評価され、また、排水施設等の被害防止と機能向上によって防災事業の発展に寄与した功績により、用排水施設整備事業促進東北協議会から表彰を受けました。

三沢理事長は「表彰は、市の協力はもちろんのこと、農家の皆さんをはじめ関係者の理解と協力のおかげ」と述べていました。



2つの賞状を手にし受賞の報告をする綴子土地改良区の三沢理事長

体も心もリフレッシュ

阿仁しょうぶウォーク

恒例の「しょうぶウォーク」が7月14日、阿仁山村開発センター前から、阿仁花しょうぶ園までの往復5キロのコースで行われ、満開の花しょうぶを眺めたり周りの緑を楽しみながら心地よい汗を流しました。

このウォーキングは、保健事業の一環として正しいウォーキング方法を身につけてもらうため、自分に合った目標設定で実践することや日光浴を行うことで骨粗しょう症予防（V・D吸収）をすることなどを目的に行われました。

参加者はそれぞれのペースで歩き、しょうぶ園内を自由に散策しながら、色とりどりに咲いている花しょうぶの美しさに見とれ、体も心もリフレッシュしました。



満開の花しょうぶを眺めながらウォーキング